



風の谷

天童市立荒谷小学校

天童市大字荒谷7857番地

校長 菊地 幸二

令和6年4月26日(金)

創立67周年 おめでとう

4月19日(金)に本校創立67周年記念式を行いました。児童を代表して、6年門脇〇〇さんがお祝いの言葉を述べました。そして、校長の話と続きました。

今年の創立記念日は、素晴らしい快晴の天気と重なり、とても気持ちのよい創立記念日となりました。短い時間ではありましたが、児童と職員とで本校の67回目の誕生日を温かくお祝いいたしました。



児童代表お祝いの言葉

6年 門脇

桜の花が散り始め、気温が高くなってきましたね。今日は、荒谷小学校67回目の誕生日です。

荒谷小はみんなが協力し、あったか運動、「自ら・共に・しなやかに」を大切にして活動してきました。

例えば、休み時間などは、いろいろな学年の人と一緒に仲良く楽しく遊んでいます。掃除時間も縦割り班で協力し綺麗な荒谷小学校にしています。

今年、私は企画委員長になりました。あったか行動の木や、リクエスト曲、挨拶運動、手の汚れ調べ、本探しなどみんなでより良い荒谷小にするために活動しています。しかし、私たちがめざす荒谷小学校にしていくためには、ちくちく言葉をなくしていくことが大切だと考えています。そうすることで、みんなが楽しく生活できる荒谷小学校になると思うからです。

私は今年最高学年として、よい伝統を引き継ぎ、児童会目標である one チームをめざして、また、児童会のリーダーとして自ら考え仲間と共に活動することを大切にしながら、あったか運動いっぱいの荒谷小学校にしていきたいと思えます

校長の話

「学校名から考える歴史と荒谷魂」

今日は、天童市立荒谷小学校の67歳の誕生日です。荒谷小学校には67年の歴史がありますが、実は、荒谷地区に最初に学校が創られたのは、さらにその83年前、今から150年前です。明治7年11月15日、天童東学校荒谷分校が即圓寺境内に創設されたのが始まりです。ですから、今年の秋には開学150周年の記念式典が計画されています。

今日は、創立記念日にあたって、二つのことをお話します。一つ目は「学校名から考える荒谷小学校の歴史」です。二つ目が「荒谷魂」についてです。

はじめに「学校の名前」から考えていきたいと思えます。 ※電子黒板使用

明治 7年 **天童東学校荒谷分校開校。(即円寺)** ※ここからが150年

明治 9年 **下萩野戸学校(干布)**

明治12年 **山寺学校荒谷分校**

明治13年 即圓寺の西111番地に移転。

2学年複式の2学級。1年生から4年生まで。

明治20年 **荒谷簡易学校**



- 明治22年 山寺村と合併。
- 明治25年 **山寺小学校荒谷分校**
- 明治34年 **山寺村立荒谷尋常小学校**として独立。
- 明治41年 義務教育が6年に延長されたが、荒谷では延長されず、5・6年生は山寺尋常高等小学校に通うことになった。※片道5km約1時間半。
- 大正2年 **山寺尋常高等小学校荒谷分教場**となり、5年生までの3学級複式。6年生は全員山寺の本校に通うことになった。
- 昭和16年 **山寺村立国民学校荒谷分教場。**
※4年生まで。5・6年生全員が山寺に通った。
- 昭和22年 6・3制の学制令公布。
山寺村立山寺小学校荒谷分校。
- 昭和25年 現在地に移転。※山寺村大字荒谷7857番地（現在の場所）
- 昭和28年 町村合併促進法。山寺から分村して干布・高揃との三か村合併を行おうという気運が盛り上がった。村民、子どもたちも荒谷で6年間学ぶことが出来るよう、分村賛成の立場に立って運動した。
- 昭和31年 荒谷地区は山寺村から分村して豊栄村（とよさかむら）となった。
豊栄村立干布小学校荒谷分教場。
- 昭和32年 **豊栄村立荒谷小学校開校。**ついに創立。※ここからが67年
新校舎6教室が増設され、落成した4月20日が創立記念日。
- 昭和37年 **天童市立荒谷小学校**
- 昭和38年 **天童市立第十小学校**
- 昭和51年 **天童市立荒谷小学校**
ここから今につながっています。

私たちの荒谷小学校は、実に14回も校名が変わっています。

これは、現在の山形市山寺と合併していたことや高揃地区や干布地区と合併していたことがあったからだと思います。それは、常に荒谷地区の子供達のことを考えての行動でしたが、さまざまな理由があり、それは、荒谷地区が求めていた思いとは違っていたのかもしれませんが。

でも、荒谷地区の方々は、あきらめず、粘り強く、この荒谷で子供達に教育を受けさせたいという願いを持ち続け、最後にはそれを達成しました。

ここからのお話は「荒谷魂」についてです。この言葉は、このような荒谷地区の先人達の思いや頑張りを表している言葉かもしれません。

荒谷地区に語り継がれている「荒谷魂」という言葉は、第6代の村形貞英校長先生がまとめた「荒谷風土記」にある言葉で説明すれば「逆境に負けず、とにかくがんばることだと自らに言い聞かせ、働きに働くこと。そうすることで、俺は勝てる、勝つのだという自信や余裕が出てくる生き方のこと」です。かんたんに言えば「とにかくがんばること」「あきらめないぞ。自分はできるんだ」という気持ちです。

本校の卒業生で、後に、北海道の網走市で牧場を経営したり、網走市の市議会議員に女性で初めて当選したりして活躍した「中川イセ」さんは、まさに荒谷魂で人生を生き抜いた方です。市議会議員は75才で引退。引退後は保育園を経営するなど、さまざまな立場で活躍し、網走市の名誉市民となりました。「イセさんを知らない人は網走市民ではない」とか「北海道で知らない人はいない」と言われています。

また、中川イセさんは、本校にも、たくさんの寄付をされています。これは昇降口上の校章です。図書961冊と本棚は図書室の前にあります。その他にも、記念切手、卓球台、放送器具、ステージ用演壇、体育館校歌額、ビデオプロジェクター、ビデオ昭和の記録50年32巻等、たくさんのものを寄付してくださっています。これは、荒谷小学校の皆さんに一生懸命勉強してほしいという願いをもってからです。

最後に、私たちは今日の創立記念式を迎えるにあたり、これまでご苦勞された先人達への感謝の気持ちを持ち、本校のめざす子供の姿である「自ら」「共に」「しなやかに」にさらに磨きをかけて、それぞれの未来が豊かなものになるように生活していきましょう。そして、来年の第68回創立記念式には、また、お互いに成長した姿を喜び合えるようにしましょう。